1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
1999年11月15日発行ＳＳＫＰ通巻1058号　　つくつく通信No.37

SSKP　つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1999年11月号
(No.37)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

甘えてるのかなあ？

怒鳴られた

それは、とあるイベントに参加させて頂いている時のことでした。

私達がつくしんぼの人間だと分かった途端、年配のお母さんらしき方からいきなり怒鳴られてしまいました。

「あなたたちは甘えているのよ！障害児の学童なんかで補助金貰って、車まで貰って、贅沢過ぎるのよ！もっと苦労しなきゃいけないのよ！」

その方は、三十歳過ぎ(?)のお子さんを連れていました。彼は、一目で自閉症と分かる青年でした。

沈黙は金？

「車は貰ったわけでなく、四分の一はお金も出してる!!」などと反論しようとも思いましたが、どう考えてもこの人相手に口答えしても勝てんよなあ……と思いなおし、聞き役に回ることにしました。

そしたら出るわ出るわ、愚痴のオンパレード！今どきの障害児の親がいかに恵まれているかから始まり、自分が子育てにいかに苦労したか、自分はどれだけ頑張ったか、はては町田の福祉がいかに低レベルかまで。

（私のせいじゃないやいいっ）

延々一時間近く演説頂きました。（ポップコーン売りの営業妨害だーっ）

甘えの構造

「甘え」とは、既得権の上に成り立つ行為なのでは？と思います。甘える環境がなければ、そもそも甘えることなど出来ないのですから。

そういう視点から見れば、障害児学級はおろか養護学校もない時代を生きてきた親達から見ると、たしかに私達は甘えているのかも知れません。

でも、これって「甘え」という一言で片づけられる問題なのでしょうか？

活動費捻出のためにバザー品を頂いて回ることやボランティアさんを頼むこと、補助金が減るかも知れないと言って騒ぐこと(?)までを「甘え」と言われた日にゃ、反論もしたくなります。

「おたく、電化製品ないの？昔は電気なんてなかったのよ。甘えてないの？……」

何事も一歩ずつ

私達は、障害児の孤独な放課後をなんとかしたい、という思いからつくしんぼを始めました。スタートしてから二年間は、補助金等まったくなしで活動を続けてきました。

その当時に比べ、今はたしかに恵まれています。何よりも専任の職員を置けるようになったということが嬉しいかぎりです。

市外の方からは「障害児の放課後保障の場があって羨ましい」とも言われます。でも、ちょっと違います。そんな場所、町田にもなかったのです。私達が作ってきたのです。

あぐらはかかずに……

でも本音を言うと「たしかに甘えているかな」と思うこともあります。

だからこそ「甘えていてはいけないんだ」と思って活動を続けています。特に福祉的な活動を無視されていた時代を生きてきて、養護学校を作ってきた方々、障害児学級を作ってきた方々への感謝は絶対に忘れてはいけないと思っている今日この頃です。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

10月16日(土) 天気 くもり

今日は、あさぐさ分教所と交流をかねたいもほり大会!! あさぐさ分教所の畑へ招待されました。

M君おいもを掘ってとっても嬉しそう。だけどH君は相変わらずの砂遊び……。Sちゃんはいもほりじゃなく虫ほり……。Y君は「掘らない！」と言って脱走……。うーん、みんな勝手だ……。

その後、あさぐさで用意しておいてくれたふかしいもとおやつを食べながらしクリエーション。みんなで歌をうたったり、両方の職員が「もののけ」と化して(?)演奏したり……。

あさぐさ分教所様、本当にどうもありがとうございました。

ささえる会ご入会・ご更新ありがとうございました

大石橋様、福井様、依田様、真野様、岩本様、矢田様、伊藤歯科様、つくしの伝道所様、南風の会様

放課後連の仲間になりました

つくしんぼがスタートした当初より、学習会に参加させて頂いたりニュースを送って頂いたり全障研でお世話になったりしていた「放課後連」(障害児の放課後生活を保障する都内団体連絡会)に、この10月より参加させて頂くことになりました。

この会は、都内で活動を続けている障害児の放課後活動グループ(約30団体)の連絡会です。中には20年以上も活動を続けている団体もあるとのこと。

活動を始めてまだ四年目のつくしんぼですが、今後ともよろしくお願いいたします。

ご寄付・ボランティアありがとうございました

高尾様、福井様、田上様、坂井様、箱崎様、川崎様、堀内様、越崎様、古川様、福井様、平田様、草野様、玉川様、周東様、植村様、依田様、中丸様、東様、武藤様、土屋様、小林様、鶴田様、三田村様、浅利様、小室様、田部井様、肝付様、山下様、矢田様、萩村様、橋詰様、小野様、宮間様、二宮様、三宅様、斉藤様、諏訪様、太田様、佐田様、竹田様、下脇様、中村様、福嶋様、森下様、岡山様、木村様、浜様、正林様、橋本様、小出様、小宮山様、雑賀様、沢木様、伊藤様、半田様、町野様、山田様、渡辺様、佐々木様、小山様、大貫様、菊地様、井上様、福本様、石橋様、江端様、伊佐様、前島様、菅様、友井様、平田様、高柳様、岸野様、井上様、篠原様、大崎様、遠藤様、小池様、小山様、小山様、菅野様、長谷川様、平井様、長谷川様、森田様、渡辺様、南崎様、清水様、つくし野中フェスタ委員会様、つくし野中野球部様、こばと保育室様、南風の会様、ＡＳＡつくし野販売店様、シルクロード様、朝日シティーニュース様、ショッパー様、バザー品を下さった大勢の匿名希望様、ポスターを貼らせて下さったたくさんのお店様、バザーにご来店下さった大勢の皆様

（10月）

1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
1999年11月15日発行ＳＳＫＰ通巻1058号　　つくつく通信No. 37

SSKP

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後５時まででーす!!
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

つくしんぼ交遊録

不安だった放課後

武藤 陽子

今年の４月、中也が小学１年生になり、実は以前から密かにお世話になりたいと思っていたつくしんぼに５月から仲間入りさせてもらいました。

私がつくしんぼを知ったのは２年位前になります。このつくつく通信を読んだのがきっかけでした。

小学校に入る前、私の悩みは正直、学校での生活よりも放課後の過ごし方でした。中也は外で元気に遊べるし、友達と騒いだりするのも好きです。しかし回りの子の遊びのレベルにはついていけないし、問題行動もあるので、大人の目は必要です。

家で過ごすのは寂しい。でも外で遊ぶには常に親は一緒、と。どうしたらいいのかと不安でした。なので、障害児のための放課後活動の場があると知った時は、本当にうれしかったです。

そして、ちょうど入学した小学校につくしんぼへ通っている２年生の子がいたので、早速あとにくっついて見学へ行きました。

中也がどんな反応を示すかドキドキしながら門をくぐりました。

中也は親の心配をよそに、ズカズカと家に入って行き、おもちゃ箱をひっくり返して遊びはじめました。すっかりつくしんぼを気に入ってくれ、距離的にもなんとかなりそうだったので、すぐに入ろうと決めました。

しかし最初の頃、中也はつくしんぼに行っても、ＴＶゲームでしかあそびませんでした。親の気持ちとしては、せっかく思いっきり遊べる場所があるのにと思っていたのですが、中也は一人で安心してできるＴＶゲームをしながら、周りの様子を窺っていたのでした。だんだんつくしんぼに慣れてくると、次第にゲームから離れ、外で遊ぶようになってきました。

最近では慣れすぎて、何かしでかしては、みんなに怒られることも多くなってきましたが……。

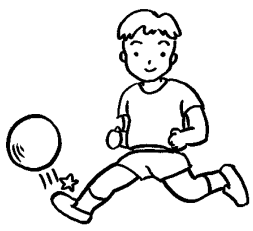
そしてもう一つの不安だった長い夏休みも、イベント好きなお母さん達のおかげで、あっという間に過ごすことができました。

なかなか出来なかったおでかけも、みんなで行くことができました。

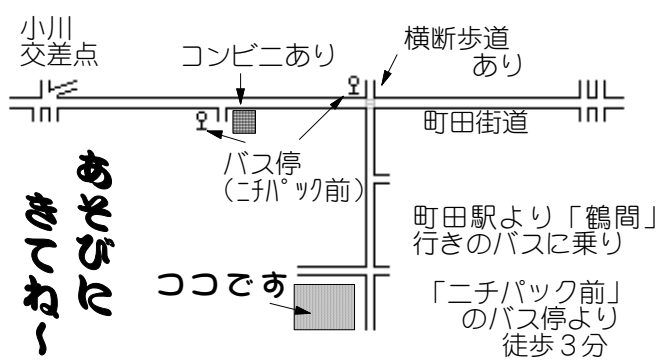
この一枚の通信から、私達親子は大事な場所に出会えました。

山下さん、ありがとうございます。

そしてつくしんぼの皆さん、これからもよろしくお願いします。



♪つくしんぼの地図♪



あそびにきてね～

田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

★★★★★★ 「つくし野中フェスタ」「町作連バザー」「つくしんぼガレージセール」にご来店頂き、ありがとうございました。（^o^）★★★★★★

10/23(土)のつくし野中フェスタ、10/24(日)の町作連バザー、そして10/31(日)のつくしんぼガレージセールに足をお運びの皆様、献品して下さった皆様、ボランティアとして手伝って下さった皆様、本当にありがとうございました。

この季節、いつも天候に泣かされていたつくしんぼですが、今年は三日ともよい天気に恵まれ、売り上げも総計で30万円弱。用意のために頑張ったこの一ヶ月間も報われた気がしています。

収益は活動費として使わせて頂くつもりでおります。

次回のつくしんぼガレージセールは来年の６月頃の予定です。またご協力頂けたら幸いです。

「つくしんぼをささえる会」ご入会　ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを九六年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。

しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいのは相変わらずです。

そこで皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。

会費は年間、一口二千円でお願いしております。

会員になって頂いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」お届けさせて頂きます。

年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

郵便振替口座番号　00120-7-168283
加入者口座名称　フリースペースつくしんぼ

編集後記

10月31日のガレージセールの日、実はとっても心配していました。お客さんが全然来ないんじゃないか、と。だって、あっちこっちでイベントが行なわれているんだもん。地味なつくしんぼを選んで来て下さる人なんているのだろうか???

幸いにも、過去最高の売り上げとなり、ホッとはしたのですが……。

不況のせいなのかどうかは分かりませんが、最近あちこちでフリーマーケットが開かれているようです。自宅にある不用品を売って現金になれば、そりゃもう一挙両得ですものね。

つくしんぼガレージセールの直前に、沢山の電話を頂きました。バザーの品物の寄付かな、と思いきや……。

「出店希望なんですけど、お願い出来ますでしょうか。出店費用はお幾らなのでしょうか？……」

ふと思いました。もしかしてこれは、バザーを自前でやるよりフリマを主催し、そのショバ代で稼いだ方が儲かるのではないか……。

うわっ、ますますテキ屋だ。

発行所　東京都世田谷区砧6～26～21
障害者団体定期刊行物協会　定価50円

町作連のＨＰ『町田の福祉のかいらんばん』が開設されました。アドレスは http://member.nifty.ne.jp/machisaren/ です